科目区分	専門教育科目	授業科目名	子どもと健康	科目コード	24Y101	担当者	野田　章子	担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	前期	単位数	1	必修・選択の別	必修
免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修								
授業形態	講義	履修条件							
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	領域及び保育内容の指導法に関する科目							
実務の経験を有する教員担当科目	該当	実務の経験内容及び科目との関連	小学校で教諭として勤務した経験があり、子どもの健康に関して幅広い知識を有している。この経験を生かして、子どもと健康の授業をおこなう。						
科目に含めることが必要な事項	領域に関する専門的事項（健康）								

授業の主題	本講義は、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基盤となる知識・技能を身に付けることをねらいとしている。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	小テストは、採点後、返却・解説を行う。
授業の方法	パワーポイントスライドおよび映像資料を使用した講義形式で行う。学生には関連する資料を配布する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	特定のテーマについては、ワークシートやグループディスカッションを取り入れる。

回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	オリエンテーション 健康とは何か	事前：健康について調べて考えをまとめる 事後：教科書および配布資料を復習する
第2回	子どもの身体の発育・発達	事前：乳幼児期の心身の発達について調べる 事後：教科書および配布資料を復習する
第3回	乳幼児期の運動	事前：乳幼児期の運動発達について調べる 事後：教科書および配布資料を復習する
第4回	乳幼児期の安全教育とけがの予防	事前：乳幼児期の危険について調べる 事後：教科書および配布資料を復習する
第5回	乳幼児期の生活習慣の形成	事前：乳幼児期の生活習慣について調べる 事後：教科書および配布資料を復習する
第6回	乳幼児期の遊びと運動	事前：乳幼児期の遊びについて調べる 事後：教科書および配布資料を復習する
第7回	乳幼児期の生活と食	事前：乳幼児期の生活と食について調べる 事後：教科書および配布資料を復習する
第8回	まとめ 自分の乳幼児期について調べて発表しよう	事前：自分の乳幼児期について調べる 事後：他の人の発表を聞いた感想をまとめる
		事前・事後学修時間（分／授業1回） 180分／授業1回

教科書［書名／著者名／出版社］	演習保育内容 健康 基礎的事項の理解と指導法／河邉 貴子　吉田 伊津美（編著）／建帛社	受講生へのメッセージ	「健康」は子どもの育ちに欠かせない大切なものです。遊びや生活を通して育まれる「健康」について、保育者の視点から、しっかりと学習しましょう！
参考書［書名／著者名／出版社］	新・保育内容　健康　活き活きとした子どもの発育発達を求めて／浮田咲子　町山太郎（編著）／教育情報出版、幼稚園教育要領／文部科学省、保育所保育指針／厚生労働省、幼保連携型認定子ども園教育・保育要領／内閣府		

評価基準																			
		学修成果の大分類	学修成果の中分類［10の力］	学修成果の配点比率（%）	評価方法の配点比率（%）						学修成果の小分類			尺度				
					定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法／評価指標	レベル５（Ｓ：100～90%）	レベル４（Ａ：89～80%）	レベル３（Ｂ：79～70%）	レベル２（Ｃ：69～60%）	レベル１（Ｆ：59%以下）
観点	尽心	態度・志向	①学習意欲															
			②規律性															
	創造	知識・技能	③知識	60	60						領域「健康」の指導の基盤となる知識と技能を理解し、説明できる。	専門的知識	筆記試験	領域「健康」の指導の基盤となる知識と技能を十分理解し、説明できる。	領域「健康」の指導の基盤となる知識と技能を理解し、説明できる。	領域「健康」の指導の基盤となる知識と技能を概ね理解し、ある程度説明できる。	領域「健康」の指導の基盤となる知識と技能をある程度理解し、少し説明ができる。	領域「健康」の指導の基盤となる知識と技能を理解できず、説明できない。
			④技能															
		思考・判断	⑤情報活用能力															
			⑥課題解決力	20		20					領域「健康」を理解し、現代的問題を考えることができる	問題発見力、思考力	提出物	領域「健康」を十分に理解し、現代的問題を考えることができる。	領域「健康」を理解し、現代的問題を考えることができる。	領域「健康」をある程度理解し、現代的問題を考えることができる。	領域「健康」を少し理解し、現代的問題を考えることができる。	領域「健康」を理解できず、現代的問題を考えることができない。
		表現	⑦言語活用能力															
			⑧コミュニケーション力															
	実践	行動・応用	⑨主体性	20				20			自分の乳幼児期について調べて、発表することができる	主体性	発表	自分の乳幼児期について十分に調べて、とても分かり易く発表することができる。	自分の乳幼児期について調べて、分かり易く発表することができる。	自分の乳幼児期についてある程度調べて、発表することができる。	自分の乳幼児期について少し調べて、ある程度分かり易く発表することができる。	自分の乳幼児期について調べることができず、発表することができなかった。
			⑩協働性															
合計				100	60	20		20										